

議会改革視察研修報告

議会運営委員会副委員長 小川 尚一

これからの自治体のあり方として、行政改革と共に議会改革の必要性について、議会運営委員会で議論されています。2月4日、全国の議会改革の先進地として実績のある、本県会津若松市議会に議員全員参加による視察研修を実施いたしました。

調査内容は、主に「議会基本条例の制定」、「広報公聴会の実施」、「政策立案」です。経過について、平成19年5月の議長選挙において、立候補制を用い、当選した正副議長の公約として議会改革があげられていました。会派代表者会議を経て「議会制度検討委員会」を立ち上げ、議会基本条例と議員政治倫理条例について18回の委員会を開催、平成20年6月議会上程可決されました。

興味深いのは、委員に市民の参加があったことや、素案をホームページに掲載してパブリックコメントの実施、5会場での市民との意見交換会を行い、市民の理解を得ながら策定されたことです。

実施にあたっては、広報公聴委員会を立ち上げ、議会終了後に全議員が地域に分かれ議会報告会を行っています。また、公聴会や市民との意見交換会から上がった意見を基に、政策立案を行うことや、各委員会前に重点事業の勉強会など委員会において議員（委員）同士の活発な議論の場を設けているなど、これまでにない取り組みによって議会の活性化と、自治体の自立に対応できる議会となるべく改革が進められていました。南相馬市議会においても、11月の改選を待たず、実行できるところから取り組んでいくべきと感じた大変有意義な研修でありました。



会津若松市での研修風景

採択された請願・陳情

受理番号	件名	請願・陳情者氏名	議決状況
請願 1	多重債務者対策の推進を求める意見書の提出について	日本労働組合総連合会 福島県連合会 原町地区連合会 議長 澤田 精一	採 択
請願 2	社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出について	日本労働組合総連合会 福島県連合会 原町地区連合会 議長 澤田 精一	採 択
請願 3	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	日本労働組合総連合会 福島県連合会 原町地区連合会 議長 澤田 精一	採 択
請願 4	米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書の提出について	南相馬市農業を守る会 代表 坂本 美男	採 択
平成21年 陳情 5	現行保育制度の堅持・拡充とゆたかな保育施策の推進について	ゆたかな保育と教育を進める南相馬の会 代表 佐藤 邦雄 ほか1人	不採択
陳情 1	印刷物件の地元業者への発注について	南相馬市印刷連合会 代表 愛原 利昌 ほか7人	採 択
陳情 2	国が進めようとしている「保育園（所）の給食外部調理」方式を認めず、どの子ども安心して食べられる自園調理方式を拡充・推進することについて	ゆたかな保育と教育を進める南相馬の会 代表 佐藤 邦雄	採 択
陳情 3	まちなかひろば事業継続について	原ノ町駅前商店会 会長 松永 邦彦 ほか2人	継続審査

○請願・陳情の提出をされる方へ：次回の6月定例会においては、5月31日(月)午後4時までに提出してください。

議員提出議案・意見書

議案番号	件名	議決状況
1	市長の専決処分事項の指定の一部改正について	原案可決
2	多重債務者対策の推進を求める意見書	原案可決
3	社会的セーフティネットの拡充に関する意見書	原案可決
4	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	原案可決
5	米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書	原案可決
6	永住外国人への地方参政権付与の法制化に慎重な対応を求める意見書	原案可決
7	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書	原案可決
8	政治資金規正法の制裁強化を求める意見書	原案可決
9	子ども手当の全額国庫負担を求める意見書	原案可決
10	介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書	原案可決
11	企業・団体の政治献金の禁止を求める意見書	原案可決

総務常任委員会

議案第4号 南相馬市職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例制定について

質疑 代休の取り組みを、全庁一体にすべきではないか伺う。

答弁 超過勤務命令簿や超過勤務実績をきちんとする。

質疑 喫煙時間を明確にする必要があるが、見解を伺う。

答弁 休憩時間に吸っているなど、職員にお願いする。市民の皆さんから批判を招くことのないよう徹底を図っていく。

議案第8号 南相馬市庁舎建設基金条例を廃止する条例制定について

質疑 各自自治区の区役所を維持する考え方について伺う。

答弁 まんべんなくサービスがいき渡る体制をどうするか、地域の皆さんとよく相談をして決めていくことが必要と考える。

質疑 本庁でなくとも、そ

れぞれの区役所でできる機能を精査する必要があると思うが見解を伺う。

答弁 サービスの低下と言われないようにする。問題意識は持っている。問題意識の結果、原案の通り可決。

議案第9号 南相馬市都市計画税条例を廃止する等の条例制定について

質疑 都市計画税を廃止しても、財政面で問題なく運営できるとの認識でよいか伺う。

答弁 影響がないということはない。影響を最小限に抑え市民サービスの低下を招かないようにしたい。

質疑 廃止により、都市整備がきちんと担保しているのか伺う。

答弁 優先順位をみて整備していかざるを得ない。審査の結果、原案の通り可決。

議案第25号 平成22年度南相馬市一般会計予算について

質疑 今後の税収の推移について伺う。

答弁 毎年下がる推計であ

る。
質疑 投資的経費はどう取り組むのか伺う。

答弁 一定程度の公共事業は必要。それには起債は欠かせないので、十分検討して方向性を見出ししていく。

質疑 都市計画税の廃止で、地方交付税措置があるのか伺う。

答弁 普通交付税が増加することはない。

質疑 eーまちタクシーの今後の動向について伺う。

答弁 原町区内4医療機関にシャトルバスを出していたが、利用状況がのびていないので実証実験をもう1年するが、費用だけで継続や廃止の検討はしない。

質疑 税のコンビ二収納状況について伺う。

答弁 総件数で27.9%納入。内訳は市県民税32.5%、固定資産税・都市計画税22%、軽自動車税36.1%、国民健康保険税26.3%となっている。

質疑 今回の市長選挙で、鹿島区の投票率が低い要因について伺う。

答弁 当日投票分の投票率であり、期日前の投票者数が含まれていないためである。誤解を招く表示になってしま

い陳謝申し上げたい。いずれかの機会に正しい投票率をお知らせする考えである。

質疑 病院経営の赤字が増えている。2つの病院維持は大変なのか伺う。

答弁 赤字が累積となれば、存続も含め見直しをする。一方で、病院経営基盤を支えることも必要と思う。

討論 行政経営は難しい時代が到来している。その中で企業誘致や利益が上がる事業を興すことが肝要だ。一方、人件費の削減をはじめ事業の見直しなど、効果的な判断を求めたい。また、市債100億円を減らすことは、景気動向を踏まえ配慮する必要があると意見を付し賛成する。

審査の結果、原案の通り可決。

議案第35号 平成22年度南相馬市太田財産区特別会計予算について

質疑 今後の財産区のあり方について伺う。

答弁 解散はだめという管理会の意向があるが、あり方については今後検討したい。現在、基金積立て額は2千663万円程ある。審査の結果、原案の通り可決。

議案第38号 平成22年度南相馬市病院事業会計予算について

質疑 市内の産婦人科の先生方との連携について伺う。

答弁 話し合いは持っているが、システム化にはなっていない。

質疑 小高病院は今後、回復病棟なのか療養型にするのか伺う。

答弁 介護療養病床については、23年度末までに結論を出す、改革プランで位置づけられている。審査の結果、原案の通り可決。

陳情第1号 印刷物件の地元業者への発注について

審査の過程では、経済状況の厳しい折、地元業者への発注は当然のことであるとの意見。審査の結果、原案の通り採択。



都市計画事業の環状1号線